

| | |
|----------------------------|---|
| 連合町内会紹介 | 1 |
| 会長挨拶 | 2 |
| 泉区連合町内会長協議会事業 | 3 |
| [特集] まちの「わ」題 (寺岡・泉松陵) | 4 |
| [特集] まちの「わ」題 (長命ヶ丘・将監・泉西部) | 5 |
| 泉区連合町内会長協議会会員一覧 | 6 |
| 市政功労者表彰、泉区連協表彰 | 6 |

仙台市泉区 連合町内会長協議会だより

第四十五号 令和5年3月

連合町内会紹介



加茂連合町内会
会長 阿部 晃

持続可能なまちへ 世代間の協力体制の構築

加茂団地の現状

加茂団地は、泉区西部の丘陵地帯に広がる団地で、団地中央の「長命館」の跡地にある歴史公園「長命館公園」は、わがまち緑の名所100選に選ばれる桜の名所です。
住民全体に占める65歳以上の割合が40%を超え、少子高齢化が進行するとともに、団地内のスーパーマーケットが閉店するなど、社会状況の変化とともに地域の課題も多様化しています。

活動状況

連合町内会の主催事業として、
①加茂地区避難所運営委員会・避難所運営訓練、
②加茂団地夏祭り、
③加茂団地防犯一斉パトロール、
④宮城県議会議員・仙台市議会議員との懇談



▲加茂地区避難所運営訓練

会、⑤新春の集い、
⑥行政機関などへの要望書の提出を行っています。

団地内の町内会・自治会に所属する世帯数は、平成20年度には約2,000世帯でしたが、令和4年度までの十数年のうち約100世帯が減少しており、町内会・自治会役員の担



▲加茂地区社会福祉協議会 ふれあい食卓

い手の減少による活動の持続可能性の低下や、活動資金の減少が課題となっています。令和元年度に役員の負担軽減策として次年度以降の夏祭りにおけるテント設営・撤去などを専門業者へ委託することとしましたが、令和2年度から本年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、この試みは来年度以降に実施する予定です。

また、団地造成から40年以上が経過しており、老朽化が進んでいることから、地域の社会インフラの整備・改修のため、毎年8月に宮城県議会議員や仙台市議会議員にご協力をいただき、行政機関に要望書の提出を行っています。

連合町内会の共催事業として、①合同会議（社会福祉協議会）、②救急・救命講習会、総合防災訓練（防災協議会）、③スポーツ大会（体育振興会）、④少子高齢化への取り組み（加茂まちづくり協議会※）を行っています。毎年度初めに開催している社協との合同会議では、社協の高齢者への見守り活動等への理解を深めるとともに、町内会・自治会と社協が協力し合うことの大切さを確認しています。

また、少子高齢化への取り組みとして、東北学院大学の学生らと高齢者の健康づくりや終活セミナー、子育て支援活動について共同学習を行い、その成果をコミュニティづくりに取り入れる試みも行っています。



▲加茂団地夏祭り（令和元年）

※加茂まちづくり協議会

住民自らが少子高齢化の問題に取り組む組織として、地域内の30の団体で構成。地域環境の大きな変化に対して住民や団体が共に手を携えて、住み易く、健康で安全な地域にしていこうことを目的としています。

安全・安心なまちづくりに向けて

加茂連合町内会では、地域の町内会長・自治会長のほかに各種団体の代表者も役員会に参加し、相互理解を深めながら「安全・安心なまちづくり」を進めています。そして、町内会活動を継続するためには、現役世代の協力が不可欠であることから、役員会への参加要件を「町内会長・自治会長」から「町内会・自治会が推薦した者」等に緩和したところ、意欲ある現役世代が役員として参加し、今や活動の中核を支えてきています。これまで団地を盛り上げてきた世代と、築かれた基盤の上に新たな試みに挑戦する現役世代との協力体制をしっかりと構築していきたいと思っています。

ごあいさつ



仙台市泉区
連合町内会長協議会
会長 傳野 貞雄

泉区内にお住まいの町内会の皆様には、日頃から泉区連合町内会長協議会の運営等にご協力いただき、心から感謝申し上げます。

また、皆様日々取り組んでおられる町内会活動において、様々な地域課題があり、その解決に向け、日々奮闘されていることに対して、敬意を表するものです。

さて、依然として新型コロナウイルスの影響は続いており、町内会の役員の皆様におかれましては、感染対策に配慮しながらの町内会運営に様々なご苦労をされていることと思います。

一方、屋外におけるマスクの着用が一部緩和されるなど、アフターコロナに向けた動きも着実に進んでおり、仙台市においては、5月に「仙台・青葉まつり」、8月に「仙台七夕まつり」が開催され、泉区においても規模を縮小しての形ではありましたが3年ぶりに「泉区民ふるさとまつり」が開催されるなど、

コロナ禍以前の活気を取り戻しつつあります。

環境美化活動、防災対策・避難所運営、防犯活動・高齢者見守りなど、多岐に渡る地域活動を進めていくためには、町内会活動が欠かせません。住民の高齢化やライフスタイルの変化など、地域を取り巻く環境が大きく変化する中、多くの町内会では役員の担い手不足といった課題を抱えている状況ではあります。が、住民相互の顔の見える関係づくりを進め、地域コミュニティを活性化していくことが重要となってくるものと考えております。

当協議会としましては、状況に合わせた形式で意見交換や研修の場を設けるなど、町内会活動の充実やコミュニティの活性化に資する取り組みを引き続き進めるとともに、行政や各種団体と連携を図りながら「安全・安心で住みよいまちづくり」に向けて引き続き努力を重ねてまいります。

今後とも当協議会の運営等にご協力いただきますことをお願いいたしますとともに、皆様の今後益々のご活躍とご健勝、そして各町内会の益々の発展を祈念してあいさついたします。

地域懇談会

地域懇談会は地域の要望や意見を行政に反映させるために開催しており、令和4年度は次の連合町内会で開催しました。



◆南光台東部連合町内会

日時：令和4年5月17日(火)
13:30～15:00
会場：南光台市民センター

◆松森・鶴が丘連合町内会

日時：令和4年10月28日(金)
14:00～15:30
会場：松森市民センター

◆泉ビレッジ館連合町内会

日時：令和4年12月1日(木)
18:00～20:30
会場：館コミュニティ・センター

「存知でしようか？」

泉区や仙台市のホームページでは、町内会・自治会の活動に関して様々な情報を掲載しています。ぜひ、参考にしてください。

◆町内会のご案内

町内会活動を行う上で必要な各種届出や活動内容に応じた助成制度などを掲載しています。

◆泉区HP▼まちづくり▼町内会のご案内

本協議会が発行する「泉区町内会活動の手引き」を掲載しています。

《泉区HP▼まちづくり▼町内会のご案内▼泉区町内会活動の手引き》

◆地域情報ファイル

仙台市内の小学校区ごとに、仙台市が把握している基礎的な情報を集めたデータ集です。人口データを中心に地域施設や団体等の情報を掲載しています。

《仙台市HP▼くらしの情報▼学ぶ・楽しむ・活動する▼地域活動▼町内会▼地域活動に関する計画・施策・調査》

◆町内会運営お役立ち情報

町内会など地域で活動する団体向けに、会計や決算報告などが解説されている総務省が作成した手引きなどを掲載しています。

《仙台市HP▼くらしの情報▼学ぶ・楽しむ・活動する▼地域活動▼町内会▼町内会運営お役立ち情報》

◆マンションと一緒に取り組むまちづくり

マンション近隣の町内会を対象とした、マンション住民の方々と一緒にまちづくりを行うための手引きを掲載しています。

《仙台市HP▼くらしの情報▼学ぶ・楽しむ・活動する▼地域活動▼町内会▼マンションコミュニティ情報》



事業に関する報告事項

開催時間の短縮や参加者間の距離の確保など、コロナ対策を講じた上で「新任単位町内会役員研修会」「単位町内会長研修会」「連合町内会長研修会」を開催いたしました。

なお、例年開催しておりました「泉区選出の議員との意見交換会」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見合わせ、中止しております。

新任単位町内会役員研修会

- ◆ 令和4年6月13日(月)
- ◆ 会場 泉区役所東庁舎5階 大会議室
- ◆ 参加者 40名

新しく町内会長になられた方や役員をされる方を対象に開催しました。初めに、当協議会の傳野貞雄会長が「町内会活動について」と題して、町内会の基礎的な役割から、町内会を取り巻く状況をデータ等でわかりやすく解説、発災時の町内会活動や最近の共通課題まで、豊富な経験



を基にお話ししました。続けて、当協議会発行の「泉区町内会活動の手引き」を基に、区役所担当課等から町内会の支援制度等について説明がありました。

単位町内会長研修会

- ◆ 令和5年1月19日(木)
- ◆ 会場 将監市民センター 多目的ホール
- ◆ 参加者 61名

片平地区まちづくり会の今野均(ひとし)氏を講師にお招きし、当協議会に所属する単位町内会の会長を対象に、「片平地区における世代間交流の実践」と題して、地域における世代間交流や、片平地区まちづくり会における実践事例などをご紹介いただきました。また、地域における役割やニーズなどについても、ご講演いただき、受講された方々からは、「計画的にまちづくりを進めているのが参考になった」などの感想が寄せられました。



連合町内会長研修会

- ◆ 令和4年11月30日(水)
- ◆ 訪問地 南三陸町・石巻市
- ◆ 参加者 20名

南三陸町では令和4年10月に新たにオープンした「南三陸311メモリアル」を訪問し、東日本震災当時の状況や住民らの行動について、ラーニングシアターやパネル展示により追体験しました。

午後からは、東日本大震災後に建てられたプレハブの水産加工場を改修し、令和2年にオープンした「南三陸ワイナリー」の工場を見学し、被災地である南三陸にワイナリーを立ち上げた経緯などについてガイドより説明を受けました。最後に、石巻市の震災遺構「大川小学校」へ立ち寄り、東日本大震災で犠牲となった方々へ弔意を示すとともに、地域における防災訓練や避難の重要性について再認識いたしました。



▲南三陸町の旧防災対策庁舎



▲石巻市震災遺構大川小学校

まちの「わ」題

寺岡サマーフェスの開催

この方に話を聞きました

寺岡連合町内会 橋会長

寺岡地区では、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度と3年度に地域の恒例行事である夏祭りの中止を余儀なくされましたが、その間、町内会役員の入替えなどから夏祭りの運営経験者が減っていたため、橋さんは、令和4年度こそは新たな夏祭りとして実施したいと考えていました。

そのような折、地域コミュニティや住民活動に興味がある宮城大学の学生と知り合ったことをきっかけに、学生に夏祭りの企画提案を依頼することとし、依頼にあたっては、小・中学生が企画から参加できる夏祭りとする、子どもが夏祭りに参加することで、親世代の町内会へ関心を高めることなどを目標としました。

その後、学生からは夏祭りの会場となる寺岡小学校の校庭に街をつくるという企画が提案され、子どもたちの夏祭りに対するニーズを探るため、学生と一緒に、小学4年生から高校1年生までを対象としたワークショップも実施し、内容の検討を進めました。

しかし、新型コロナウイルス感染症対策により、小学校の敷地内では飲食ができないということが分かり、橋さんらは「飲食なしでは祭りの醍醐味が失われてしまう。どこかに代わりの場所はないか？ そうだ、寺岡には良い公園があるじゃないか！」と考え、夏祭りの会場を寺岡中央公園に変更しました。会場は変更となりましたが、出店予定者からの辞退はなく、結果的にキッチンカーによる飲食のほか物販関係あわせて31団体が出店しました。

また、過去に開催した夏祭りでも、連合町内会の役員の負担が大きいことが課題となって

おり、夏祭りを開催するにあたり2つの負担軽減策を考えました。

1つは、出店者が使用するテント等は可能な限り自ら準備してもらうことです。それにより連合町内会としては、ブースの割り当てのほか、本部・救護所のテント、簡易トイレ等の必要最小限の準備だけで済むようにしました。

もう1つは、会場にごみステーションを設置せず、会場で出るごみは、各自持ち帰ってもらうことを徹底することです。その結果、祭り終了後の会場の清掃活動では殆どごみが落ちていない状況でした。

その他、新型コロナ対策として会場の出入口を一つにし、来場者にリストバンドを配布することで来場人数の把握や検温・手指消毒を円滑に実施でき、また、会場を木陰が多い公園としたことで熱中症を抑止することもできました。

橋さんは「新型コロナウイルス感染拡大に配慮しながら、大学生や会場周辺の事業者の皆さんなど、様々な方々の協力のおかげで夏祭りを成功裡に開催できた。今後、内容をブラッシュアップしながら、子どもたちの笑い声のある夏祭りを続けていきたい。祭りを通じて地域のコミュニケーション、繋がりを残していければ。」と話してくれました。



▲会場の様子



地域の支えあい活動「百縁ひろばネットワーク」

この方に話を聞きました

泉松陵連合町内会 高橋会長
(百縁ひろばネットワーク代表)

行政や社会福祉協議会等だけに依存するのではなく、住民が主体となった活動が大切であると考えていた高橋さんは、高齢化社会を迎える中、地域の要配慮者の方の日常生活を応援する活動を市民の一人として行いたいという想いから、平成28年8月に「百縁ひろばネットワーク」を立ち上げました。

同ネットワークでは、ゴミ出しや買い物の手伝い、病院への通院移動サービスなど地域の要配慮者の日常生活を応援する活動を行うほか、地域の方々の交流の場となる「百縁カフェ」、運動サポートによる介護予防体操や茶話会を行う「豊齢サロン」、地域包括支援センターとの共催による介護予防講座「ふれあい塾」などを開催しています。

団体名の「百縁」は、

生活応援活動の謝礼が30分あたり100円であること、「百縁カフェ」のメニューや「豊齢サロン」と「ふれあい塾」の参加費が100円であることから由来しており、100円で住民同士のつながりを作ることができるという意味が込められています。

「今年度の百縁カフェではシャンソン歌手をお招きして歌っていただきましたが、来場者に非常に好評でした。」

高橋さんはイベントの企画にあたり、地域の方々が興味を示すようなスパイスとなることを常に意識しているとのこと。

最後に高橋さんは「活動を継続していくうえで、次世代にどのようにパトタッチするかが課題。更なる事業展開を目指すのではなく、今後も地域の困っている人のお手伝いをする互助的な活動を最優先に取り組んでいきたい。」と話してくれました。



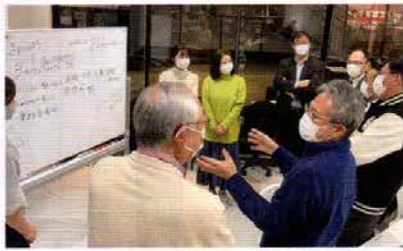
▲ふれあい塾

この方に話を聞きました

長命ヶ丘地域のまちづくり

長命ヶ丘地域は約40年前に団地が造成されましたが、地域内の人口はピーク時より約3,000人が減少し、高齢化も進んでいます。伊藤さんは、こうした状況に危機感を抱き、持続可能な地域にするためには人口減少や高齢化に歯止めをかけ、新たな住民が入ってくるようにしなければならないと考えていました。

そのような折、NPO法人まちづくりスポット仙台が開催した地域資源の活用促進事業「郊外を(もっと!)強くするまちづくり作戦会議」に参加した伊藤さんは、様々な地域のまちづくり事例を見聞きし、本格的に地域のまちづくりを考えるようになりました。長命ヶ丘地域のまちづくりに向けて、最初



▲「VISION BOOK」作成に向けた話し合い

に伊藤さんは地域の課題を取りまとめ、地域のシンボルである「愛の鐘通り」の歩道の改良を区役所へ要望するなど、地域のインフラ整備から着手しました。

令和4年度は、まちづくりスポット仙台的支援を受け、「長命ヶ丘地域のまちづくり」が「何をめざし」「何をやるのか」地域の皆さんにわかりやすく可視化できるよう、「VISION BOOK」の作成に取り組んでいます。

最後に伊藤さんは「住んでいる人を重視した美しいまちを目指しつつ、地域外の方から選ばれるまちとして新陳代謝を促していきたい。そのためにも、まちづくりの指針となる「VISION BOOK」を地域の方々に配布して賛同を得ながらまちづくりを進めていきたい。」と話してくれました。



▲岩間さん ▲伊藤会長

長命ヶ丘連合町内会 伊藤会長
NPO法人まちづくりスポット仙台 岩間さん

この方に話を聞きました

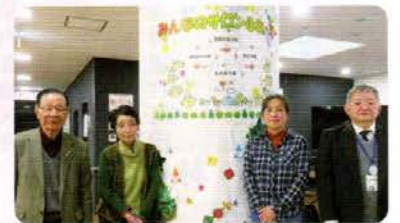
『将監みんなのサロン ふれ・ミー』始動

令和4年5月、将監地区に新たな将監市民センターが開館しました。本施設は、老朽化が進んでいた将監地区の市民センター、児童センター、老人憩の家を複合施設として仙台市が再整備したもので、施設内には地域住民が運営する市民交流スペース(通称「ふれ・ミー」)も設置されています。

「将監みんなのサロンふれ・ミー運営委員会」は、「ふれ・ミー」を運営する団体として令和4年4月に設立され、これまで、月1回のコンサート、ふれ・ミーカフェ、おもちゃ交換会、朝市等、様々な企画を行っています。朝市は、これまでに3回開催しており、初回のおたけし朝市では800名が来場、第2回では出店数増加に伴い飲食スペースを設置、第3回は「秋祭り」と題して、中学生ボランティアの協力も得ながら規模を拡大して開催し大盛況

でした。今後も、高齢者だけではなく、若い世代の皆さんが自由に立ち寄ることができる企画を検討しています。

代表の高橋さんは「新しく生まれた空間が、将監にお住まいの誰もが気兼ねなくお茶を飲みながら集い合える“仲間づくりの場”、特技や趣味を活かしての“情報交換の場”、交流の中での“学びの場”、世代を超えて“ふれあう場”となることを目指して、今後も活動していきます」と話してくれました。



▲樋口会長、高橋会長、ほか関係者の皆さん

将監町内会自治会連絡協議会 樋口会長
将監中央町内会 高橋会長
(将監みんなのサロンふれ・ミー運営委員会会長)

将監みんなのサロン
「ふれ・ミー」について

場所：将監市民センター内(仙台市泉区将監8丁目1番18号) ホームページ：<https://furemi.com>
ふれ・ミーカフェ：10時30分から13時00分まで(月・木はお休み)
※笑顔を添えた作りたてのコーヒーを1杯200円で飲むことができます。

「根白石橋」の開通式

根白石橋

◀橋名板

この方に話を聞きました



▲開通式の様子

令和4年12月25日、根白石地区にできた「根白石橋」の開通式が行われました。

この橋は、平成27年9月の関東・東北豪雨において、同地区にある「馬橋」

の橋脚に滞留した流木によってせき止められた七北田川の水が氾濫し、近隣の住宅や道路、畑への浸水や橋台の破損など大きな被害が発生したことをきっかけに整備が進められたものです。

平成28年4月、「馬橋」に代わる新しい橋の位置や道路などを検討するため、泉西部地区連合町内会長をはじめ、各町内会長、根白石商店会会長、根白石小中学校長などで構成される「根白石まちづくり協議会」が設立され、住民アンケートの結果も加味し

ながら協議が行われました。そして、「馬橋」の150m下流に新たな橋を建設することを市長へ提言し、このたび「根白石橋」として整備されました。なお、現在の「馬橋」は、今後、被災の原因となった橋脚をなくしたうえで歩道橋としてリニューアルされる予定です。

庄司さんは「根白石橋は馬橋より道路幅が広くなり、歩道もあるため、車も人も通行しやすくなった。近年、根白石地区には新築の家が増えており、新しい橋の開通が地区の更なる活性化へ繋がることを期待している。また、根白石橋には4つの橋名板が設置されているが、名板の文字は根白石小学校の子ども達が書いた習字をもとに制作されている。子ども達にとってよい思い出になったと思う。」と話してくれました。



泉西部地区連合町内会 庄司会長

仙台市泉区連合町内会長協議会

会員一覧

(令和5年1月1日現在)

| 連合町内会等名 | 氏名 | 役職 |
|------------------|-------|-----|
| 29 紫山連合町内会 | 齊藤勉 | 副会長 |
| 28 明石南連合町内会 | 塚本進 | |
| 27 泉松陵連合町内会 | 高橋秀幸 | |
| 26 桂連合町内会 | 山本寿充 | 副会長 |
| 25 八乙女地区連合町内会 | 小野諄一 | |
| 24 南光台東部連合町内会 | 熊谷早希子 | |
| 23 南光台地区連合町内会 | 佐藤正治 | 理事 |
| 22 黒松連合町内会 | 白木新一郎 | |
| 21 松森・鶴が丘連合町内会 | 山田広 | |
| 20 泉中東地区連合町内会 | 草貴子 | |
| 19 山の寺連合町内会 | 山内功 | |
| 18 向陽台連合町内会 | 緑川武夫 | 理事 |
| 17 虹の丘連合町内会 | 三澤喜悦 | |
| 16 泉中央連合町内会 | 高橋吉雄 | |
| 15 上谷刈連合町内会 | 本郷克美 | |
| 14 加茂連合町内会 | 阿部晃 | 理事 |
| 13 長命ヶ丘連合町内会 | 伊藤勝行 | |
| 12 将監町内会自治会連絡協議会 | 樋口稔夫 | 理事 |
| 11 大沢・新田連合町内会 | 笹羅悟 | |
| 10 泉ヶ丘連合町内会 | 鈴木茂 | 会長 |
| 9 高森東連合町内会 | 傳野貞雄 | |
| 8 高森連合町内会 | 日渡清一 | 監事 |
| 7 寺岡連合町内会 | 橘伸一 | |
| 6 野村・上谷刈西連合町内会 | 早坂明 | |
| 5 南中山連合町内会 | 曾根正行 | |
| 4 北中山連合町内会 | 佐藤重子 | 監事 |
| 3 住吉台連合町内会 | 後藤郁雄 | 理事 |
| 2 泉ビレジ館連合町内会 | 高島美之 | |
| 1 泉西部地区連合町内会 | 庄司一夫 | |

市政功労者の表彰

市政の発展に貢献のあった方の表彰式が、令和4年7月4日に仙台国際センターで開催され、次の方が受賞されました。

【順不同・敬称略】

| | |
|------------|------|
| 高森連合町内会 | 日渡清一 |
| 南光台東部連合町内会 | 清水誠義 |
| 向陽台連合町内会 | 緑川武夫 |

泉区連協表彰

令和4年度泉区連協総会において、当協議会の振興発展に寄与され、退会された方を表彰しました。

【順不同・敬称略】

| | | |
|---------------|------------|------|
| 表彰状(3年以上在職退会) | 泉西部地区連合町内会 | 早坂廣輝 |
| | 泉ヶ丘連合町内会 | 鈴木實 |
| | 寺岡連合町内会 | 林優子 |
| | 南光台東部連合町内会 | 清水誠義 |
| | 紫山連合町内会 | 蝦名博征 |

泉区連協 一年の動き

区連協では、総会で決定された事業計画に基づき、事業を行っています。

- ◆ 5月16日 総会
- ◆ 6月13日 新任単位町内会役員研修会
- ◆ 11月30日 連合町内会長研修会
- ◆ 1月19日 単位町内会長研修会
- ◆ 3月 仙台市泉区連合町内会長協議会だより 第45号発行
- ◆ 3月15日 第二回全体会
- ◆ 年6回(4・6・7・9・11・2月) 役員会
- 【開催見合わせ】 第一回全体会
- 泉区選出の市議・県議との意見交換会

仙台市泉区連合町内会長協議会だより

《発行》

仙台市泉区連合町内会長協議会

《事務局》

泉区まちづくり推進課